



陣屋小だより

学校教育目標

かしこく
やさしく
たくましく

令和6年11月1日
第7号

あたたかい ご声援 ありがとうございます 校長 保戸田雅之

10月26日(土)の運動会では、保護者・地域の皆様にたくさんのあたたかい拍手をいただき、ありがとうございました。熱心に練習を重ねてきた表現では、途中でも自然と拍手が沸き起こり、一生懸命演技する陣屋っ子の姿と相まって、とても感動的でした。



少し肌寒い天気でしたが、子どもたちは全力で競い合い、可愛らしく踊り、たくましい演技を披露しました。私が担任として表現の指導をしていた頃は、恥ずかしがって動かない子供に悪戦苦闘していました。ところが最近ではYouTubeやSNSの影響か、誰でも踊ることに抵抗がなくなり、実に楽しそうに練習に取り組んでいました。「時代は変わったなあ」と、改めて思いました。

今年もPTAの役員の方々、おやじの会の皆様に運営のお手伝いをいただきました。また、運動会終了後も、多くの保護者の方々、卒業生にも片付けにご協力をいただきました。運動会は、保護者・地域の「つながり」が実感できる学校行事です。おかげさまで、午後予定していた片付けの職員作業は、とても少なく済みました。ご協力、ありがとうございました。



【3,4年生「陣屋ソーラン節2024」】



太鼓の音と、元気なかけ声が、秋祭りの会場のように空に響き渡っていました。

思い思いのデザインをした法被が風になびいて、とてもかっこよかったです。

【1,2年生「かがやけ陣屋っ子～Bling-Bang-Bang-Born2024～」】



とてもテンポの速い曲ですが、細かい動きをよく覚えて上手に踊っていました。

手首の飾りをキラキラさせ懸命に踊る姿に、より愛おしさを感じました。

【5,6年生「今、咲き誇る 大輪の花」】



ダンスとフラッグの素晴らしい構成でした。黄色とオレンジが、まさに咲き誇る

大輪の花のようでまぶしかったです。高学年の表現力に頼もしさを感じました。

また、子供たちの頑張りの陰で、当日の「最高到達点」を見守り、目を潤ませている職員が多くいました。短期間で仕上げなければならないプレッシャーと闘い、日々の練習を重ねてきた先生方の努力にも誇らしさを感じた運動会でした。

